夏といえば、そう! BB〇 でございます。 炭火が生み出す遠赤外線が網の上にのったお肉をジュージュー

と焼いていると、滴る肉汁に夏の強い日差しがあたり、キラキラと輝く。表面はパリッと、中からは閉じ込められた肉汁が出てきます。その肉汁とマリアージュさせるのが、これまた「プシュ」っと開けたビール。夏の日差しに負けない魅惑あふれる琥珀色の液体がもう、夏には欠かせないもので。あっ、8月25日と26日はチトビアですよ。ちょこっと告知もしちゃいますよ、だって夏、ですもの♡

今日は夏の楽しさを語りたいわけではないです!お話したいのは 人工 このじんこーしば、でございます。

雑草・害虫対策で庭一面に敷く方が最近増えてるんですって。でね、夏になる

とその人工芝が **非常に暑し**んです。そう、まさにこの写真のように灼熱も灼熱。ものによりますが、80℃以上になるとか。ほら、炎に炙られる感じを現したんですが、そんなに大袈裟でもないでしょ?だって、80℃ですよ。

熱を蓄える人工芝。

ワンちゃんは 内球で体温調節 をしているんです。胴長短足のダックスフンドなどはお腹が芝生に近く、まさに80℃の世界に接しているわけです。肉球がヤケドってこともあるそうです。まさに、ホットドック。。。ってそんな馬鹿な、ね。

かわいそうですよね。

じゃぁ、どうすればいいのか。熱くならない人工芝にすればいいんです。 簡単でしょ? 今回ご紹介する人工芝は気温 35℃以上が続いても素足で歩けちゃいます。

それにそれに、一般的な人工芝よりもクッション性が高いのが特徴。専用のシートを敷けば水はけもバツグン。暑い日には頻繁に水を撒いても OK。人工芝で意外にに気になるのがカビなんですけど、水はけがいいとカビ防止にもなるうえ、水洗いも気軽にできるのでお手入れが簡単。

あっ、そうそうこの人工芝、ペット用に開発されたものなんですけど、ペットがいらっしゃらない方にもおすすめです。幼いお子様が安心してお庭遊びできることはもちろん、雑草を抜いたり芝刈りしたりとメンテナンスから解放されるというのがうれしいですね。

